

## 新日鉄と(株)ポスコが戦略的提携契約をさらに5年延長

新日鉄と(株)ポスコは、今後もグローバルな鉄鋼市場の中で確固たる地位を確保するため、戦略的提携契約を今後少なくとも5年間延長することで合意した。

2000年8月の本契約締結以降、副社長級を共同議長とする推進委員会を設置し、さまざまな分野別の専門委員会・検討会を設

け、各部門にて積極的に戦略的提携を推進してきた。今般、両社にて、研究開発、技術交流、原料購買など多くの分野において目覚ましい成果を上げたことが確認された。

現在、新日鉄はPOSCO株を3%強、POSCOは新日鉄株を2%強相互保有し、事業会社と

してはPOSCOは新日鉄の、新日鉄はPOSCOの最大株主だ。

鉄鋼業を取り巻く環境が激変したこの5年間、両社の戦略的提携は着実に発展を遂げ、有益かつ多大な活動成果をあげてきた。両社は、異なる伝統と文化を有する企業間において、経営統合という手法をとらず、両社のさまざまなり

ソースの融合により大きな共同成果を実現できることを、企業活動を通じて体現してきた。

今後、市場環境の変化を見据えながら深化・拡大させ、本戦略的提携を積極的に活用していく。

本戦略的提携は両社のさらなる成長・発展に大きく寄与するものと確信している。

## 君津／厚板 No.5 号加熱炉が稼働開始

君津・厚板工場では、昨年より設置工事を進めてきたNo.5号加熱炉が6月30日より稼働を開始した。新加熱炉は旧加熱炉跡地に建設することで大幅な工期短縮を図り、工事・試運転調整、材質確性試験も順調に進め、当初計画を前倒し完了した。

近年の非常に旺盛な厚板需要に対して、さらなる対応力強化を図るために、新加熱炉設置に

対して所内外から大きな期待が寄せられていた。今回の稼働により、加熱能力は飛躍的に向上し、8月には圧延量月産新記録を達成するなど、早くも加熱能力向上効果を十分に発揮している。

No.5号加熱炉は全バーナーに蓄熱式(リジェネレイティブ)バーナーを採用し、排熱回収率の向上を図るとともに、厚板の多様な加熱条件にも対応できる

高効率省エネルギー型加熱炉としている。また、昨年立ち上げとなった大形新加熱炉や、熱延4号加熱炉の知見を反映させたことで、より高機能かつ作業性に優れた設備となっている。

現在、No.5号加熱炉による加熱圧延能力向上と精整物流効率化を組み合わせた工場一貫生産能力向上に関係者が一丸となって取り組んでいる。



お問い合わせ先  
君津製鉄所(代表)  
TEL 0439-50-2013

## 君津／極厚用試験設備を導入

国内最大級のDWTT(※)試験機が8月4日、君津の機械試験センターで稼働した。DWTT試験とは、大型の衝撃試験機で試験片を破断した時の延性破面率と衝撃吸収エネルギーで低温域での鋼の靱性を評価するもの。

既設の振り子式ハンマーで試験片を破断する試験機の容量は3万Jと小さく、試験可能な板厚も22ミリが限界だった。従って、厚手材の場合には19ミリまで減

厚加工してから試験していたため、試験片への加工負荷が高いために、仕様よりもさらに厳しい温度での試験が要求されていた。

ラインパイプ材の使用環境が厳しくなる中で、高強度・厚手化の要求は高まり、正確な衝撃吸収エネルギーの値だけでなく、衝撃時の亀裂伝播度合いを正確に評価できる試験機が必要となっていた。

今回、5万～10万Jまで容量可

変の重錘落下タイプのDWTT試験機を導入したことで、550Nクラスで最大板厚60ミリまでの破断と、約0.1秒という短時間での鋼の破壊プロセスの解析が可能となった。

合金鉄の高騰が続く中で、この試験機は、品質設計コストの一層の低減と試験工期の短縮、高強度高靱性鋼板の開発にも寄与する。

※: Drop Weight Tear Test



お問い合わせ先  
君津製鉄所(代表)  
TEL 0439-50-2013

## 大分／シーバースの主原料受入量が累計5億トン達成

大分シーバースからの主原料受入量が、7月17日「NSS ADVANCE」で、累計5億トンを達成した。

1971(昭和46)年に「知多丸」で鉄鉱石を受け入れてから、34年の歳月を経ての記録となる。

当シーバースは、30万トンク

ラスの大型原料船が3隻同時に着岸できる世界最大級のもので、昨年5月に荷役アンローダーを更新・新設し、さらなる能力向上が期待されている。

19日に行われた累計5億トン達成記念式典には、製鉄工場や関連協力会社から約70人が出席。

「今後も一丸となって実力を発揮し、次の記録を目指していこう」と、心を新たにしました。

お問い合わせ先  
大分製鉄所(代表)  
TEL 097-553-2305



## (株)フロンティアエネルギー新潟 新潟発電所の竣工式

新日鉄・新日本石油(株)・三菱商事(株)の3社の共同出資により設立された「(株)フロンティアエネルギー新潟」(新日鉄45%、新日石35%、三菱商事20%)の発電所(※)が7月11日に営業運転を開始し、現地で竣工式が

行われた。

当発電所は、特定規模電気事業者である新日鉄と新日石へ電力を供給する。また、主燃料である石油コークス調達は、三菱商事が担当する。今後は、当発電所設備の安定操業を通じた電

力の安定供給に努めていく。

※ボイラ・タービン方式、出力:11万キロワット、燃料:石油コークス



三村社長(左から3人目)  
(株)フロンティアエネルギー新潟 渡辺正剛社長(当社エネルギーソリューション事業センター長)(右)

## 中京製線(株)と(株)チタックの事業統合に向けた基本合意の成立

新日鉄と中京製線(株)、(株)チタックおよび伊藤忠丸紅鉄鋼(株)は、中京製線(株)と(株)チタックの伸線事業の統合に向けて基本合意し、具体的な検討と準備に着手する。事業統合の細目については、今後4社で協議していく。

現在普通線材製品市場は、昨今の建設需要の大幅な減少を背景とし縮小が続く一方、要求品質の厳しいCH鋼線(主用途:

ボルト・ナット・ねじ等)の需要は、自動車メーカーの生産増を受け増加の一途を辿っており、線材二次加工メーカーの需要構造は大きく変化している。

両社は、この需要変化に万全な対応を行うとともに、今後のさらなる発展のためには、事業基盤の一層の強化が不可欠であると判断した。

事業統合により両社は経営資

源を互いに補完し合い、より効率的な生産、研究、営業体制を確立し、強靱な事業基盤が実現する。

これにより、お客様をはじめとする関係各位のさまざまな要望と負託に、今まで以上に添えていく。

\*事業統合の方式(予定):原則、中京およびチタックの合併による統合を予定。合併比率は、第三者機関の評価

を踏まえて、今後4社で協議。

\*中京製線(株)は、1957年現・新日鉄の指定工場として発足。1966年中京地区における新日鉄直系の伸線メーカーとなり、国内建設業向けを主体とした普通線材および、自動車向けCH鋼線(冷間圧造用鋼線)等の生産・販売を行ってきた。(株)チタック(1948年設立)は1977年に現・伊藤忠丸紅鉄鋼(株)のグループ会社となり、自動車向け小ロットの即納品等を中心に、普通線材およびCH鋼線の生産・販売を行ってきた。

## 新日鉄リサイクル技術2件が「愛・地球賞」をダブル受賞

新日鉄の「製鉄インフラを活用した使用済みタイヤのリサイクル」(広畑)及び「WARC方式一転炉法による使用済み自動車リサイクル」(八幡、西日本オートリサイクル(株))の2件のリサイクル技術が、「愛・地球賞-Global100 Eco-Tech Awards」(\*)をダブル受賞し9月1日表彰式が行われた。

両技術とも「地球環境問題の解決、人類および地球の持続可能性への貢献度」「21世紀の社

会にふさわしい新規性」「様々な社会で役立つ普遍性」の3点から総合評価され、「資源の有効利用・リサイクルのための技術」として評価された。それぞれの受賞理由は以下の通り。

・「製鉄プロセスを活用した使用済みタイヤのリサイクル」:冷鉄源溶解法(SMP法)を利用し、使用済みタイヤに含まれるスチールコード、炭素、ゴム等を余すことなく鉄鋼製品の原

料・燃料として活用。ガス化リサイクル設備により、ガス、油、乾留カーボン、鉄ワイヤーに熱分解する技術を組み合わせ、同一サイトで、年間100万トン発生する使用済みタイヤの12%をリサイクル可能にした。

・「WARC方式一転炉法による使用済み自動車リサイクル」:廃自動車のリユース可能部品を回収(販売)し、その後、WARC方式と呼ばれる解体・分別ライ

ンにより高速かつ徹底的な分別を行い、転炉法と組み合わせることで、リサイクル率99%を達成した。

\*主催:(財)2005年日本国際博覧会協会 共催:日本経済新聞社



## (株)ジャパンペール、阪神タイガースペール缶を販売

(株)ジャパンペールは、目下セントラルリーグで優勝争いを繰り広げている阪神タイガースをモチーフとしたデザインペール缶「タイガース缶」を販売する。提案型営業活動の一環で、個人及び法人向けが対象。

ペール缶は意匠性に優れ、堅牢で攪拌性にも優れる特性を持つスチール容器で、従来から潤滑油や化学品の容器として広く用いられている。

「タイガース缶」は、贈答用として、ご家庭のお部屋のインテリアやツールとして、

また阪神タイガースの応援グッズ入れなど、使い方はアイデア次第だ。タイガースファンの方、もちろんそれ以外の方のご購入も大歓迎。

\*容量:20ℓ

\*値段:1本2,000円。送料・梱包費は別途約1,200円が必要。



お問い合わせ先  
 (株)ジャパンペール営業部  
 TEL 06-6535-1721  
 jp\_eigy@j-pail.co.jp

## 日鉄ドラム(株) / ドラム缶が奏でる新しい音楽の世界

本年7月に開催された「中村恩恵新作2005 a play of a play」で、日鉄ドラム(株)のドラム缶が楽器として使われた。舞台上で共演した世界的なパーカッションの加藤訓子さんは、ドラム缶を選んだ理由や魅力を次のように語った。

「ドラム缶は音の幅があり、た

くさんの可能性があります。劇場の雰囲気合い、ダンスの舞台にマッチするもの、マッチするようで違和感があるもの、そんな風に考え、コンセプトに合うのはドラム缶しかないと思ったのです。ドラム缶で新たな楽器を創るために、自らのアイデアのもとに数々の実験と試作を

重ねました。“音色”と呼ぶにふさわしい“美しい響き”にこだわりました。ドラム缶から意外にも美しい音が出たら、驚きや喜びは大きく、とても新鮮です。今度はドラム缶ライブをやってみたいと思います」(談)

お問い合わせ先  
 日鉄ドラム(株) 総務部 TEL 03-5627-2311



パーカッションスト  
 加藤訓子さん

## 紀尾井ホール (財)新日鉄文化財団 10月主催・共催公演情報から <http://www.kioi-hall.or.jp>



14・15日 紀尾井シンフォニエッタ東京 第51回定期演奏会  
 指揮:ユハ・カンガス  
 ハープ:マリー=ビエール・ラングラメ、吉野直子  
 曲目:シベリウス 劇音楽「クオレマ」より  
 モーツァルト「2台のピアノのための協奏曲  
 変ホ長調」ほか  
 16日 グレート・マスターズIV〜スペシャル・ガラ〜  
 中野桂、江戸京子、小林武史、松本善三ほか  
 ピアノ:寺嶋陸也 特別ゲスト:大谷列子  
 司会:三善清達、後藤美代子

20日 第四回 ゆう志の会 【邦楽】  
 出演:中川敏裕(箏)、山本真山(尺八)、  
 難波竹山(尺八)、富山清琴、  
 矢崎明子(三弦)、シュテルン・クインテット  
 曲目:「新娘道成寺」「尾上の松」  
 山本真山作曲「日本の尺八のための楳」  
 渡辺俊幸作曲委嘱作品「秋・冬・春・夏」

お問い合わせ・チケットのお申し込み先:  
 紀尾井ホールチケットセンター  
 TEL 03-3237-0061 (受付10時~19時 日・祝休)